

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月24日

事業所名 こどもプラス武雄教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	3	2	法令に沿ったスペースは確保していますが、曜日によっては利用児童数が多くなり狭く感じることもあり、ケガをしないよう見守りを強化しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	2	2	下校時間等が重なると児童を待たせてしまう場合があります。
	3	事業所の設備等について、安全を配慮した措置・バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	3	室内はバリアフリー化されているが、玄関に段差が2段あるため注意が必要な場所だと認識し声掛け等を行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4		2	職員同士で話し合いができており、目標に沿って実行し改善できることは早めに改善するようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		保護者からのアンケート回収がなかなか難しいが、意見を聞いて業務改善に繋げるように職員全体で話し合いができています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2		ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	1	定期的に評価をしてもらい、改善に繋げるよう話し合いができています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		定期的に研修を受けており、疑問等があればその都度ミーティングを行っています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			職員間で意見を出し合い、サービス計画書を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	1	アセスメントは必ず確認し、児童に合った支援ができるようにしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			毎日の活動プログラムは職員で意見を出し合い同じことを繰り返さないように工夫しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			毎回利用児童が飽きないように工夫しています。児童に人気のある活動は固定する場合もあるがその他にも様々な活動ができるようにしています。
適切	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		長期休暇はスケジュールの見直しを行ったり利用者に応じて細かく設定をしており、休日には平日には行えない活動を取り入れています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		利用児童に合わせた個別活動と集団行動を計画作成を行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			支援前にスケジュールを打ち合わせし、内容や役割について必ず職員で話し合いを行っています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、 工夫している点など		
な 支 援 の 提 供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			送迎後に必ず確認をし、振り返りをして情報共有しています。トラブルがあった時には改善の話し合いも行っています。		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			当日の支援内容や気になることなど記録で残し、指導内容や方法を検討しています。		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			モニタリングは必ず行い、計画書の見直しを行っています。必要性に関しては間違いがないよう判断をするようにしています。		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4		2	ガイドライン・基本活動は毎月確認してま す。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		2	児発管・管理者が出席し、参加後に情報を共有しています。		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			学校への情報共有は教室便りや電話連絡などで必ず行っています。送迎時には学校の様子を伺い、教室での様子も情報提供をしています。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3		2	1	現在は医療的ケアが必要な児童はいませんが、受け入れる場合には連絡体制を整えるようにしていまう。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3		3		事前に支援会議等で情報交換や、相談支援員に間に入ってもらい情報交換・共有を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3		3		現在は、卒業後に事業所へ移行した児童はいませんが、今後行う場合は協力して提供します。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3		2	1	研修に参加したり、モニタリングを児童ごとに行っている際に支援センターの方々にも助言をいただいています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2		2	2	今はコロナの影響で交流機会が少ないですが、公共施設への訪問や地域イベントに参加するなど交流しています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			3	3	3	コロナの状況をみながらではありますが可能な時は参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6					送迎や連絡帳などで児童の状況を保護者と伝えあいながら課題について理解し合い、支援に繋げています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3		1	2	2	状況により保護者にも伝える事があったり、お願いしたりして保護者の方にも支援することがあります。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			定期的な面談を行い説明している。支援内容等については利用開始時に行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2		送迎の際やメール等にて相談があればすぐに答えられるように助言や支援を行い、職員間でも共有し解決できるよう支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	4	コロナの影響で父母会の活動はあまりなく、保護者間の連携の支援はあまり出来ていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情対応についてはすぐに職員で共有・対応し、迅速に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			毎月必ず行事予定や活動内容等の情報をお便りで発信し、連絡帳でその日の様子を伝えています。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			個人ファイルを含む記載がある書類等は鍵付き書庫で保管し、外部に漏れないようにしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			意見交換・意思疎通しやすい環境づくりをし、誤解が生じないようラインやメール等も活用しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	3	コロナ禍により控えています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		保護者には契約時にマニュアル等作成していることは必ず伝えており、職員にも周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			災害・水害・地震災害を中心に避難訓練を年に2回は行っています。そのほか消防署より借りたDVDを視聴して学んでいます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			動画研修や虐待防止委員会も年に2回以上実施し理解を深めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			契約時の際に保護者に十分に説明を行ったうえで、必要になった場合は事前にデイサービス計画に記載し、必ず同意を得てから行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3		現在は対象児童はいないが、事前にアレルギーに関しては保護者より正確な情報をもらい対応しています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			記録に残しすぐに職員で共有し防止策を話し合っています。	